

東京連合支部 「バス見学会」開催報告

東京連合支部は2022年度行事として12月3日に神奈川県の新吉田茂邸、小田原城、石垣山一夜城跡のバス見学会を開催した。コロナ禍でもあり、近々の感染者数動向や旅行中の感染防止策等について再三の審議を重ね、3年振りに開催するに至った。

当日、三上理事長や小西さいたま支部長も含め総勢24名は東京駅丸ビル前から大型バスにて出発した。

大磯の新吉田茂邸は国内外の多くの政治家や著名人が訪れ戦後政治の表舞台とも言われていたが、平成21年に焼失。しかしながらその後旧図面に沿って再建された邸宅と昔ながらの広い庭園から終戦直後の混乱期に内閣総理大臣として復興に尽力した吉田茂の人間性と功績を存分に偲ぶことが出来た。

次の小田原城は北条氏が関東支配の中心拠点として拡張、城と城下は総延長9キロに及ぶ総構に囲まれた難攻不落の城だったが、豊臣秀吉の小田原攻めにて滅亡、戦国時代の終焉の史実はあまりにも有名です。武具や美術工芸品からその歴史を学び、天守閣からは相模湾に浮かぶ大島の眺望を楽しむことが出来た。

鈴廣かまぼこの郷で昼食と買い物を済ませ、最後の石垣山一夜城跡に向かった。1590年に豊臣秀吉が北条氏を責めるため水陸15万の大軍で包囲した本陣としてわずか80日で築城、今は崩れた石垣しか見られないが、当時の壮大な戦の面影が垣間見られた。

今回はバス席が2席に1名とソーシャルディスタンスを保持、全見学先にガイドが付き、歴史を詳しく学べ、安心した旅を満喫出来た。

(東京 MA 支部長 茂呂克己 43M)

